

愛知県 看護協会だより

vol.129
WINTER
2017

特集 平成28年度重点事業 「地域包括ケアシステム推進の活動」を紹介します

- | | | | |
|----|--|-------|--|
| 01 | 2017年新春のご挨拶 | 04 | 委員会紹介 |
| 02 | 愛知県看護研究学会が開催されました | 05-06 | 特集:平成28年度重点事業
「地域包括ケアシステム推進の活動」を紹介します |
| 03 | 子育て応援団
チュウキヨ～くんのすこやかフェスタ
マンスリーニュース | 07-08 | ナースセンターニュース 2017 WINTER |
| | | 09-10 | 愛知県看護協会からのお知らせ |
| | | 11 | 理事会報告／お知らせ |



世界糖尿病デーに
ブルーライトアップされた岡崎城

<http://www.aichi-kangokyokai.or.jp>

健康であること、
幸福であること、
そのための看護。

公益社団法人 愛知県看護協会

2017年 新春のご挨拶



公益社団法人 愛知県看護協会 会長

鈴木 正子

新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのことと思います。

2017年の干支である酉年。酉年の「にわとり」は、明け方に鳴く鳥です。新年も一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。さらに「とり」は「とりこむ」に繋がり、運気もお客様も取り込めるということで、商売関係に縁起のよい干支とされています。行動力があり積極的、親切で世話好きであるという意味もありますので、愛知県看護協会もこれにあやかり、本年も積極的に事業を進めてまいります。

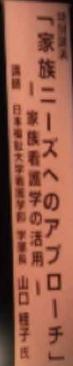
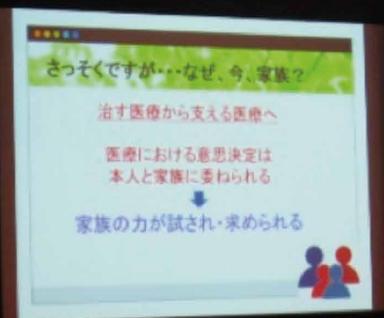
少子超高齢・多死社会を迎え社会制度改革により、病床の機能分化・連携や在宅医療・介護の推進、医師・看護師等の医療従事者の確保、勤務環境の改善等の取り組みが推進されています。このような社会の変化と求めに応じつつ確実な看護を提供するためには、地域・病院・施設などの課題を明らかにする視点を持つこと、課題に適切に対処できる実践能力を向上することが求められます。加えて、在宅での医療へのシフトにあたっては、地域の理解、チームを組む他職種との職務についての相互理解が不可欠です。

このように多様化する社会・医療の潮流、ニーズに対し看護協会は、研修テーマの精選、調査の実施、研究の支援、多職種交流会の充実、政策提言の強化など多方面からアプローチし、スピード感をもった対応をしていきます。

そしてこれからも、皆様の専門職としてのプライドを支える拠り所として、皆様の声に耳を傾け情報を共有し、ともに考え常に前へ進む協会でありたいと思っています。

会員をはじめ看護に関わる皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしますとともに、本年も一層のご支援、ご協力を頂きますようよろしくお願ひ申し上げます。





日程 平成28年
11月29日(火)
場所 ウインクあいち

特別講演 日本福祉大学看護学部長 山口桂子先生

愛知県看護研究学会が 開催されました

この学会は、「看護実践に根ざした看護研究を推進し、看護の質の向上を図る」ことを目的に毎年開催しています。開催に向けて応募演題を査読し、委員全員で検討後、応募して下さった皆様へ（温かく）コメントします。さらに、特別講演や研究支援講座、交流セッションを企画し運営しています。

学会への参加者は、努力の甲斐あって（？）総勢481名とあと少しで500名に届くほどでした。これは、看護研究に対する皆様の関心の高さの現れであると推察されますが、残念ながら応募演題数は22題と減少しました（昨年度29題、目標40題！）。看護研究の重要性を感じながらも、日々の業務が複雑化・煩雑化しているため、研究に伴う負担感が勝ったのかもしれません。あるいは、応募はしたいが抄録作成等を面倒だと感じたのかもしれません。

今年度の特別講演では、日本福祉大学看護学部学部長の山口桂子先生をお招きして、「家族ニーズへのアプローチー家族看護学の活用一」についてご講演いただきました。家族の理解や支援について事例を交えて具体的に説明していただき、家族看護への学びがさらに深まりました。研究支援講座は中部学院大学教授の足立はるゑ先生より、ワークシートを活用した看護研究についてご講演いただきました。

私たち学会委員会は12名で構成されています。皆様の看護研究を支援するためにありますので、遠慮せずに活用していただければと思います。この学会は次年度も12月に開催します。皆様からの多数のご応募とご参加をお待ちいたしております。皆様に分厚い抄録集を届けることが出来るよう努めてまいります。

学会委員会 委員長 田辺 圭子

学会委員会メンバーです



チュウキヨ～くんのすこやかフェスタ

中京テレビ放送主催「子育て応援団 チュウキヨ～くんのすこやかフェスタ」が10月15日(土)・16日(日)の両日、日本ガイシホールで開催されました。「すこやかフェスタ」は、子育てに関する様々な話題を提供することで親子ともに楽しめるイベントです。

愛知県看護協会は、共催という形で毎年参画しています。保健師・助産師・看護師が、お子さんの身長・体重測定を行い、母乳相談、育児相談など子育てに関する様々な相談に応じています。また、子供用の看護師ユニフォームを着用しての記念撮影を行っています。

身長体重測定コーナーでは、「大きくなったね」と我が子の成長に微笑み、看護師ユニフォームを着用の写真撮影では、「未来の看護師さん姿」を親子で楽しめました。

相談コーナーでは、16名の方が利用され、「母乳や育児について、専門家に相談でき安心した」との声が聞かれました。

看護協会のブースには、身長・体重測定が441名、ユニフォーム着用が719名、相談が16名、2日間で延べ1176名と多くの方に来場して頂き、大盛況のうちに終えることができました。また、来場者の皆様に看護をより身近に感じていただく機会になりました。

助産師職能委員会 委員長 真野 真紀子



協会のこの3ヶ月

Monthly News

マンスリーニュース

10月

- 15日・16日 チュウキヨ～くんのすこやかフェスタ
- 17日 セカンドレベル開講式
- 20日 前期監査
- 22日 交流会「地域包括ケアシステムの円滑な実現に向けて」
- 24日 地区支部長会議
- 29日 交流会「災害時における多職種連携」



災害時における多職種連携

11月

- 11日 交流会「助産師実践能力強化の取り組み」
- 13日 訪問看護・脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程入学試験
- 19日 交流会「多職種で取り組む看取りケア」
- 29日 愛知県看護研究学会
- 11月29日～12月1日 災害支援ナース派遣日本看護協会と合同訓練



災害支援ナース派遣合同訓練

12月

- 2日 セカンドレベル開講式
- 15日 新WLB推進ワークショップ情報交換会

委員会1

教育委員会

教育委員会では、愛知県看護協会の研修事業の大部分を占める、一般教育研修の企画を担当しています。会員の皆様や愛知県内の看護職の皆様が専門職としての誇りを持って生き生きと働いていただけているよう、県内の看護の質が向上するよう、卒後研修という観点から看護協会にどのような支援が求められているのか、どのような支援ができるのかを常に問い合わせながら研修の企画にあたっています。年間の委員会開催回数は11回と協会内でもトップクラス。9月、10月には1日“缶詰”で次年度の研修計画を話し合うという少々ハードな委員会ですが、委員12名が真面目な話題を楽しく活発に話し合っています。平成29年度に向けては、看護実践力の向上、地域包括ケアシステムの構築、看護職としてのキャリア形成支援を基本において研修を企画中です。

教育委員は研修に同席していることもあります。教育委員を見かけられた時には、お気軽に、委員会へのご提

案やご要望などをお聞かせください。より良い研修の機会が提供できるよう皆様と共に考えて参りたいと思っております。皆様のご協力とご支援をお願いします。

教育委員会委員長 服部律子



委員会2

社会経済福祉委員会

社会経済福祉委員会は7名で構成され、その役割は①看護職の働きやすい労働環境づくりの推進、②看護職の処遇改善の推進、③労働環境の調査分析です。ここ数年は特に看護職のワークライフバランス推進のための支援活動を行っています。その中心的な活動は平成24年から始まったWLB推進ワークショップ事業です。参加施設における3年間のWLB推進活動を支援し、年2回のフォローアップワークショップや地域支援者との施設訪問、働きやすい労働環境づくりの講演会などを行ってきました。ワークショップには規模・設立主体の異なる病院が参加しています。離職防止、残業削減、育児・介護支援、人材育成など様々な課題を持ち、「なんとかしたい」切実な思いが伝わります。他施設の報告や意見交換は、自施設の取り組みを見直す機会になります。その結果、新たな情報から、ひとつでも多くの工夫、知恵を持ち帰ることができ、「これからも頑張るぞ!」という元気のエネルギーが広がります。平成28年度からは「2年間で取り組む、新看護職のWLB推進

ワークショップ」として、中小規模病院の方にも参加していただきやすいうようにしました。これまで取り組まれてきた病院の活動・成果が活用され、取り組みが進んでいくことが期待されます。

看護職が働き続けられる職場づくりをめざして、これからも会員の皆様とともに委員会活動を進めていきたいと考えています。

社会経済福祉委員会 委員長 平岡 翠





JNA「高齢者および認知症支援のための看護職連携構築モデル事業」に参画

瀬戸地区支部では今年度、藤田保健衛生大学病院の協力を得て、認知症看護教育研修と認知症ケアサポート研修を企画、運営しています。

認知症看護教育研修は【認知症の人を支える医療・看護の役割と地域との協働】をテーマとし、8月27日と12月10日の2回開催しました。

研修対象者は地域の病院、訪問看護ステーション、介護施設に勤務し認知症に携わっている看護職です。講師は認知症専門医、豊明市役所職員、訪問看護ステーション看護師、認知症看護・脳卒中リハビリテーション看護・摂食・嚥下障害認定看護師で、様々な視点からの講義を行いました。研修生からは「疾患から看護、地域の認知症高齢者の病状や、行政における取り組みを理解することができた」「知識を再確認でき、新たな学びを得ることで認知症ケアの質向上に意欲がわいた」など今後の地域看護の実践に役立つ研修だと評価されました。

認知症ケアサポート研修は【認知症の人を支えるための多職種連携と専門性の発揮】をテーマに1回目を10月15日に開催しました。研修対象者は看護職だけでなく作業・理学療法士、介護職、医療ソーシャルワーカー、歯科衛生士など多職種が対象です。講師は豊明市南部地域医療包括支援センター職員、理学療法士、認知症看護・集中ケア・緩和ケア認定看護師です。研修生からは「症状～社会資源まで幅広く学べた。」「病院との連携は今後必要な課題であるため、お互いの役割を理解しあい連携したい。」など地域包括ケアシステムに向けての意識付けができたとの評価をえました。2回目は平成29年2月25日に開催します。

また、地域連携を強化するため看護連携会議も予定しており、今後も地域包括ケアシステム推進に向け、看護師職能I・IIの連携を更に強めていきたいと考えています。

瀬戸地区支部 支部長 小池 三奈美

R|e|p|o|r|t 第1回 認知症ケアサポート研修の様子



藤田保健衛生大学病院の
リハビリテーション学科の教授が
講師として協力してくださいました。



倫理的配慮について
グループワーク中です。

推進の活動」を紹介します



在宅領域における看護職の課題

少子・超高齢・多死社会の到来に向け、国の施策は病院完結型医療から地域完結型医療へと大きく転換しました。また地域包括ケアシステムの構築が最重要課題となっている現在、地域に暮らす人々の「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える」という看護職への役割期待は大きくなっています。そこで愛知県看護協会では平成28年度より看護師職能委員会Ⅱ介護福祉施設・在宅領域が設置され、在宅領域で働く看護職の意見集約と課題解決に取り組む体制が整備されました。愛知県看護協会看護師職能委員会Ⅱで集約した意見等は、愛知県看護協会及び日本看護協会へ報告します。

介護福祉施設・在宅領域で働く看護職は、①看護師の数が少なく看護に関する研修の機会が少ない、②医師が常にいないことにより看護師に判断をゆだねられるという責任の重さ、③介護職との密接な連携が必要、④病院に比べ賃金が安いなど病院に勤務する看護師とは異なる様々な課題があります。また協会員が少ないという職能委員会としての課題もあります。

今年度看護師職能委員会Ⅱは、「高齢者施設等の看護管理者交流会」、「多職種で取組む看取りケア交流会（尾張地区、西三河地区の2か所で開催）」、及び昨年度日本看護協会が公表した看護師のクリニカルラダーに関連して、「介護福祉施設・在宅領域における現任教育の現状に関する実態調査」を行いました。次年度も継続して課題改善に向けた取り組みを行うと共に、新企画「中日健康フェア」に参加して、この領域の活動を広く県民にも普及し、地域包括ケアシステムの実現に向けた活動を進めていきます。

看護師職能委員会Ⅱ 委員長 中崎 聖子



「地域の特性にあった健康なまちづくり」パートⅡ

～地域のデータを活用した保健師活動の見える化『データの見方は保健師の味方』～

11月19日土曜日、保健師職能研修会第2回を標記テーマで開催し、52名の参加がありました。

講師の中板育美日本看護協会常任理事から、保健師の地区診断から政策形成していく能力をデータヘルスでのデータ分析の視点を生かし、PDCAサイクルを活用して政策を評価していく必要性を強調されました。

そのためには、既存事業の整理をしながら、組織的な協力体制の構築、関係団体との協力、外部からの支援をうまく活用し「見る、つなぐ、動かす」の具体的な教示がありました。

保健師が地域活動を通じて把握している地区特性を加え、効率的かつ効果的な保健事業を施策化し、実践する力を「味方」についていくことが必要という内容の講演がされました。

瀬戸市国保年金課の大島亜友美氏からは、日本看護協会のデータヘルスモデル事業として取り組まれた経緯や、「健康部門と他部門の保健師連携、事務職との連携が生まれ、組織として取り組めたこと」、「健康寿命の延伸と医療保険制度の維持が重要な施策であったこと」等の成果が報告されました。

保健師職能における地域包括ケアシステムの実現は、高齢者だけでなく妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援が重要だと考えています。次年度はこのようなテーマで助産師職能と共同企画を計画しています。ぜひご参加ください。

保健師職能委員会 委員長 日高 橋子





ナースセンター ニュース 2017 Winter

ご存知ですか？

愛知県ナースセンターは厚生労働大臣許可の無料職業紹介所です。
看護職の方の就職活動をサポートします！！

1 看護職復職支援交流会

看護職のキャリア継続のため、再就職に向けた支援をしています。

開催日 10月22日(土) テーマ 「ライセンスを生かし続けるために」

感染対策についての講演

愛知県がんセンター中央病院
感染管理認定看護師 土屋大樹先生

皆さんに关心の高いテーマで大変興味深く聞くことができました。

これからの時期に
適切でなおかつ現場
以外家庭でも役に
立つ内容で良かった
と思います



復職支援研修の案内・求人

その後ナースセンターから施設の雇用・託児支援の状況などの情報を提供しました。

復職に関して、届出制度専用サイト「**とどけるん**」でもさまざまな情報を配信しております。ぜひ、ご登録ください！

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>



仕事を離れて
から長くなるので、
交流会などの機会が
あってとても
助かります

2 訪問看護職員交流会

訪問看護の質の向上・看護師間の情報交換を目的に開催しています。

開催日 11月5日(土) 参加者 66名

技術の習得と他施設の職員との情報交換を通して交流を深めました!

実技演習が
とても分かりやすく、
自信がついた(大多数)



午前の講義

「訪問看護師が行う
呼吸ケア」では、呼吸介助
の理論と技術



講師に直接質問
することができて
良かった



午後の情報交換会

5つのテーマについて、
日ごろ悩んでいることや、
訪問看護の取り組み方に
についての意見交換

訪問看護の
やりがいをより
多くの看護職に
伝えたい



様々な事例や
意見を聞き、これからも
がんばって
いこうという
刺激をもらいました



3 看護学校訪問

ナースセンターのPR活動をしています!

「看護職になる!」とがんばっている学生のみなさま、ナースセンターは「いつでも」「どこでも」
みなさまが、看護の仕事を継続していくことを支援しています。

学生の声
復習の機会と
なってよい



ナースセンター
運営先

●愛知県ナースセンター

〒466-0054
名古屋市昭和区円上町26番15号
愛知県高辻センター1階
TEL: 052-871-0600 / FAX: 052-883-3686
メール: aichi@nurse-center.net

●名駅支所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター(ウインクあいち)17階
TEL: 052-433-1173 / FAX: 052-433-1175
メール: meieki@nurse-center.net

●豊橋支所

〒440-0888
豊橋市駅前大通2丁目33番地の1
開発ビル4階
TEL: 0532-52-1173 / FAX: 0532-52-1166
メール: toyohashi@nurse-center.net



<http://www.aichi-nurse.com/>

愛知県看護協会 からのお知らせ

平成29年度の入会手続きについて

新規入会・再入会、継続手続きがまだお済みでない会員の皆様へ
引き続き受け付けています。入会手続きの変更点は以下の通りです。皆様のご入会お待ちしています。

入会手続きの変更点について

	平成28年度まで	平成29年度から
入会申込書	毎年更新時に提出	会員情報内容に変更がある場合のみ提出 (平成30年度以降) ※新規入会・再入会は初回のみ提出が必要
入会申込書 送付先	愛知県看護協会	公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会 会員登録事務局 宛 〒206-8790 日本郵便株式会社 多摩郵便局 私書箱21号
発送方法	郵便・レターパック・ゆうパック・ 宅配便等	【施設会員】 郵便・レターパック・ゆうパック ※宅配便・現金書留・着払い 不可 【個人会員】 専用封筒(オレンジ色)
会費納入方法	愛知県看護協会専用口座へ振込	【施設会員】 ①口座振替(個人口座より引落し) ②施設で取りまとめて納入(銀行振込)のいずれか 【個人会員】 ①口座振替(個人口座より引落し) ②銀行振込 ③コンビニ収納のいずれか
会員証の発送	愛知県看護協会を経由して 施設または個人宛へ毎年発送	事務委託会社より施設または個人宛へ直送 (永久会員証)
登録内容の変更	会員登録内容変更・ 訂正届出書を 愛知県看護協会へ提出	①キャリナースのマイページから会員自身が変更申請 ②従来どおり、会員登録内容変更・訂正届出書を 愛知県看護協会へ提出
※退会	次年度継続手続きをせず、 会費納入期限を過ぎると 会員資格喪失となる	①次年度継続入会をしない場合、継続しない旨の 意思表示が必要となります。 ②それ以外は自動継続となります。 ③退会を希望される場合、退会届 (愛知県看護協会ホームページよりダウンロード)に 永久会員証を添えて愛知県看護協会へご提出ください。

看護師養成所2年課程(通信制) の入学要件変更

入学要件は准看護師としての就業経験年数が「(旧)10年以上」から「(新)7年以上」になります。

【施行期日】 平成30年4月1日

～看護協会は、准看護師の方の看護師資格取得を支援しています～

平成28年度 秋の叙勲・表彰 受賞おめでとうございます

瑞宝双光章

新井 笑美子(元名古屋第二赤十字病院副院長兼看護部長) 西園 民子(元碧南市民病院看護部長)

瑞宝单光章

友松 謙子(元名古屋市立大学病院看護部長)
古橋 弘子(元愛知医科大学病院看護副部長) 長谷川 美鶴(元愛知県がんセンター愛知病院看護部長)

愛知県条例表彰による表彰(保健医療功労)

加藤 容子(愛知県訪問看護ステーション協議会副会長) 新實 房子(元愛知県助産師会副会長)

愛知県知事へ要望書を提出しました

要望書

平成28年10月18日

- 1 地域包括ケアシステムの推進に関わる人材育成として訪問看護提供体制の整備推進を図られたい
- 2 看護職確保定着対策の推進のための支援を図られたい
 - 1)ナースセンターへの支援の継続
 - 2)看護職の働きやすい環境整備の支援
- 3 看護の質の向上のための基礎教育の充実と特定行為研修の受講の促進
 - 1)准看護師養成課程の看護師養成課程への変更に係る支援を強化されたい
 - 2)特定行為研修の受講に必要な経費補助等の支援を図られたい
- 4 統括的な役割を担う保健師の配置の促進を図られたい
- 5 県として助産師出向制度を検討されたい



平成30年度

日本看護協会代議員及び 予備代議員の選挙について

平成29年度の愛知県看護協会通常総会において、平成30年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を行います。(定款細則13条)

定款細則17条により、立候補の受付を行います。立候補をされる正会員は、所定の手続きに従って届け出を行ってください。(ホームページに様式を掲載しております)

なお、代議員及び予備代議員の数は会員数によって決められ、各々38名です。
立候補の締め切りは、平成29年4月21日(金)必着とさせていただきます。

(選挙管理委員長 中富八千代)

理事会報告

第5回 理事会 平成28年10月24日(月)

協議事項

- ① 平成29年度重点事業(案)について
- ② プラットナースを活用した広報活動について
- ③ 定款施行細則の改正について
- ④ 選挙規程の改正について
- ⑤ 「資金調達及び設備投資の見込み」の変更について
- ① については、質疑応答の後、原案の方向性が承認され、継続審議となった。
- ②～⑤については、いずれも質疑応答の後、原案通り承認された。

報告事項

- ① 平成28年度7月～9月事業報告
- ② 平成28年度前期監査報告
- ③ 日本看護協会理事会・法人会報告
- ④ 日本看護協会職能委員長会議報告、地区別職能委員長会報告
- ⑤ 全国准看護師制度担当役員会議報告
- ⑥ 有価証券の購入について
- ⑦ 平成28年度医療介護総合確保基金(医療分)愛知県事業について
- ⑧ 平成28年度みとり募金について

第6回 理事会 平成28年12月19日(月)

協議事項

- ① 平成29年度委員会及び
地区支部事業計画(素案)について
- ② 地区支部の地区割再編について
- ③ 平成29年度日本看護協会名誉会員の推薦について

いずれも質疑応答の後、原案通り承認された。

報告事項

- ① 日本看護協会理事会・法人会報告について
- ② 平成29年度日本看護協会長表彰候補者の
推薦について
- ③ 平成29年度愛知県看護協会行事予定(案)について

公益社団法人 愛知県看護協会 平成28年度三職能合同集会のお知らせ

テーマ：人材育成－私たち看護職の実践能力を高め、質向上へつなぐ－

●日時：平成29年2月14日㈭ 10時～16時(受付 9時30分～) ●場所：愛知県産業労働センター ウインクあいち

- 第I部 職能集会 10時～12時
- 【保健師職能集会】講演「新たなキャリアラダー・キャリアパスを活用した保健師の育成」
 - 【助産師職能集会】シンポジウム「助産師のキャリアパスとCLoCMiPを活用した人材育成」
 - 【看護師職能Ⅰ集会(病院領域)】シンポジウム「師長とスタッフがともに育つ職場づくり」
 - 【看護師職能Ⅱ集会(在宅領域)】交流集会「あなたにもできる、地域で活かそう看護のキャリア」

- 第II部 合同集会 13時30分～16時
- 「人材育成に関する看護職への期待と支援」 講師：公益社団法人愛知県看護協会 副会長 三浦昌子
 - 「看護職の実践能力向上に向けて
－人材育成のためのクリニカルラダー活用について－」 講師：公益社団法人日本看護協会常任理事 川本利恵子

お詫び

協会だより vol.128 6頁 みとり募金の施設住所に誤りがありました。
さくらセンター 名古屋市瑞穂区苗代町3番24 訂正してお詫びいたします。

表紙の写真について

世界糖尿病デーにブルーライトアップされた岡崎城です。家康公が誕生した城です。夜の城も幻想的な雰囲気です。また、徳川の先祖の松平家の菩提樹として大樹寺があり、その寺の本堂から三門、総門を通して岡崎城を望めます。そのラインをビッグラインと言います。岡崎に立ち寄った際には覗いて見てください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。あっという間に1年が過ぎてしまいました。時の速を感じるのは私だけでしょうか…

年間のまとめ、次年度方針を考える時期もあります。次年度に向け、会員の皆様に興味を持って読んでいただけるよう委員会メンバー知恵を絞って頑張ります。本年もよろしくお願ひいたします。

●会員数 36,368人(平成28年12月31日現在)(保健師581人/助産師1,426人/看護師33,326人/准看護師1,035人)